



2026年5月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

春の気持ちの良い天気の中で、お花見ができました♪



伝える姿

サービス管理責任者
剣持 勇氣

日差しもやわらかく、過ごしやすい時期となりました。新年度の慌ただしさも落ち着きはじめ、少しずつ日常のリズムが整い始める頃かと思えます。

さて、今年度もライフパートナーこぶしには新入職員が加わり、現場には少しずつ新しい風が入ってきています。入職後の初めての環境では、右も左も分からず毎日が新しいことばかりです。まして新卒であれば、お金を支払って学んでいた立場から、仕事をしての対価としてお金を貰うという立場に変わり、自分自身を取り巻く環境の変化は今までの人生の中で最も大きいという人も多いのではないのでしょうか。新しい環境の中で一生懸命に取り組んでいる姿を見ると、「自分も最初はこんな感じだった」と、ふと新人の頃を思い出します。

龍鳳へ入職した際の当時の私も、先に述べた例にもれず分からないことばかりでした。先輩へ何を聞いていいか、聞くタイミングや、さらには何を質問すれば良いのかでさえ分からないこともありました。教えてもらったことを上手くできずに悩んだり、落ち込んだりしたことは数えきれないくらいあり、正直余裕はなかったと思います。それでも、自分に対して変わらないう丁寧に関わってくれた先輩の存在に、ずいぶん助けられました。今は教える立場になることも増え、同じよ



春の販売会のお知らせです♪ パウンドケーキ販売します！
ぜひ、遊びに来てください🌸 お待ちしております！

令和8年度 春のマルシェ 清瀬市内福祉施設 自主生産品販売会

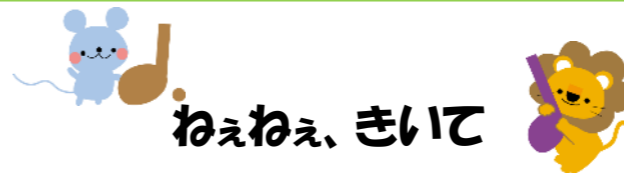
日時:令和8年 5月16日(土)
10:00~14:00
会場:清瀬喜望園「まいもホール」

清瀬市周辺の福祉施設で作ったおいしいお菓子や、丹精込めて制作した雑貨や小物など心踊る自主生産品が多数揃っています。
「まちきよによる防災・減災についてのイベントを実施します！」
また、清瀬市社会福祉協議会「フードバンク」のバザーも実施。
皆様のご来場をお待ちしております！



【連絡先】
社会福祉法人まいも会
清瀬喜望園 ☎042-493-3235
清瀬喜望園 ☎042-493-5551

【主催】まいも会 合同地域福祉委員会
【後援】清瀬市役所
清瀬市社会福祉協議会



ねえねえ、きいて

生活支援員 城間 直哉

4月3日、清瀬市の柳瀬川周辺でお花見会を行いました。
初めての会場で誰もがドキドキしたと思いますが、天気は晴れ、美味しいお弁当、まさかの屋台と、嬉しい出来事が盛り沢山でした。
様々な笑顔が見られて私はにっこりでした。



キラリ☆と光るこの一枚



息の合ったペアで大逆転勝利！
つつい遠回りしちゃいます(*´艸`)
(吉井 友美)

春は天然色

4月になり、こぶしでは入職して2度目のお花見会参加。今回は清瀬の市民館での開催となり数年ぶりのバス乗車でした。天気も晴れ、心地良い風が吹く中、絶好のお花見日和！

前日から楽しそうにお花見に着る洋服の準備をする人もいれば、バスに乗るのが楽しみで色々教えてくれる人もいたり楽しみ方は人それぞれ。

前日まで大雨でしたが、当日はまさかの快晴！お天道様も見ています！会場では職員のレクリエーションを楽しみながらお昼はお弁当！お腹いっぱいになってからの自由時間は気持ちが良かったですね。川沿いの桜並木を歩いてお花見を楽しんだり、屋台やコンビニで食べ物を買って花より団子な人たちもいたりとお花見でしか見られない楽しい1日になりました。

春から新しい仲間も加わり、この1年がどのような年になるのか楽しみです！個性豊かな後輩たちに色々教えられる先輩になれるよう頑張っていきたいと思います！

生活支援員 馬場 翔哉

フォトニュース ～4月の様子～

♪入職式♪

🌸お花見🌸



次の通りご寄付をいただきました。

・ライフパートナーこぶし保護者会様

20,000 円

頂いたご寄付は大切にさせていただきます。ありがとうございました。

4月より新入職員が加わりました！ どうぞよろしくお願ひします。

こぶしでは皆さん一人一人の特性や性格をよく知り、
一人一人の方に合った支援をしていきたいです。
また丁寧な支援を心掛けたいと思っています。
利用者さんが安心して生活や活動ができるよう
声掛けや介助の工夫を忘れず、
支援をしていきたいと思っています。(佐藤 杏)

今年の目標は「楽な支援をする」です！

「楽な支援」とは手を抜いた支援ではなく、
利用者さんが楽しく生活できる支援という意味と、
業務を明確化し効率よく「ラク」をして仕事が楽しめ
るという二つの意味を込めました！(檀上 翔真)

清瀬事業所での勤務となります。
清瀬事業所の利用者さん、職員の皆さんと
楽しく仕事ができればと思っています。
精一杯頑張りますので、
よろしくお願ひ致します！(石井 夏希)



私が描く抱負は、利用者さん一人ひとりと
信頼を深め、利用者さんにも支援者にも
信頼される人となり、
こぶしで精一杯働くことです。(笹原 朝陽)

変化を楽しむ

新年度を迎えて早くも一か月が過ぎました。瞬く間に桜は散り、街は鮮やかな新緑に包まれています。この季節は、爽やかで過ごしやすいという印象を持つ人も多いでしょう。ところが実際には、年々五月の気温は上昇し、昨年は観測史上二番目の暑さだったといわれています。三十度を超える日が続いたことを、記憶している方も少なくないはずです。

五月の三十度は、真夏の三十度以上に堪えます。それは身体がまだ暑さに慣れていないからです。しかし同じ三十度でも、七月下旬であれば「今日は少し涼しい」と感じることもあります。この違いは、私たちの身体が環境に合わせて少しずつ順応している証でもあります。日本には四季という、ある意味避けられない変化がありますが、季節は行きつ戻りつ、緩やかに移ろっていきます。その過程で、私たちは思っている以上に変化に対応する力を身につけているのかもしれない。

一方で、人は変化に弱い存在でもあります。新年度直後のこの時期、仕事や生活の中で立場や環境が変わり、不安や不満、現状を守りたいという気持ちが先に立つことは自然な反応です。大きく変わらなければならない、早く成果を出さなければならないと思えば思うほど、心は重くなります。これは私自身、今までに何度も何度も繰り返し感じてきたことです。

だからこそ、季節の変わり目に学べることがあります。一気に変わろうとせず、小さな一歩を重ねること。昨日より少し慣れる、先週より少し前に進む、そんなスモールステップで十分だと思います。変化は直線ではなく、季節の移ろいのように揺れ戻しも含めたプロセスなのだと思えば受け止めることができたとき、ようやく恐れは薄れ、心に余白が生まれます。

変わることは不安ですが、同時に新しい景色に出会うチャンスでもあります。新緑がいつの間にか深まっていくように、自分の変化も静かに着実に進んでいる。そのことに気づけたとき、変わることをそのものを少し楽しめるようになるのではないのでしょうか。

総務事務部 部長 大神田 千恵



待つこと 見守ること

ある日の受注作業での出来事です。

2人の利用者さんがペアになり、古着の靴に値札を付ける作業に取り組んでいました。Aさんが値札の小さな穴に紐を通そうと、諦めずに奮闘されていました。もう少しでできそう！と思いその様子を見守っていると、ペアのBさんが「ここ持つと良いよ」「ここに通すんだよ」とアドバイスしてくれました。決して手は出さず、Aさんが最後まで自分でできるように待ってくれたこと、そして、見守ってくれたその姿勢が印象に残っています。どんなに納期に追われて余裕がどこかに行ってしまったも、「待つ・見守る」姿勢を忘れまいとハッとしました。

利用者さんのできることはやってもらい、こちらはまずは待ってみる。さらに、こんなことできたら素敵だな～と思うことにも挑戦してもらい、見守りながら新たな一面を沢山見つけたいと思います。

清瀬事業所 生活支援員 江島 響